PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

1980年6月28日

テーマ1 核戦争の熱気の兆し

1 ドラフト登録とガス分配計画は、動員の新しい気候を示唆していた。



2 誤った核警報は警告システムエラーの危険性を暴露した。



3 Beter氏は、このアラートは製造された攻撃の意図的なテストであると主張した。



4 プロMXモバイルミサイルが防衛ヘッドラインを独占した。



5 MXの宣伝は秘密のMinuteman TXプロジェクトを隠していたと、ベターは主張する。



6 彼は北の鉄道を走るミサイル車について記述した。



7 彼の物語では、コスモスフィアはあらゆる移動ミサイルを眺めていた。



8 「ベター」は、誤った警告が核戦争の引き金となる可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

1980年6月28日

テーマ2 拡大する内戦における災害の増大

1 アメリカ合衆国に訪問した労働者職員は高度に自動化された生産を見た。



2 ベタエダは、アメリカの指導者は科学的な識字力に欠けていたと断言した。



3 ソ連の秘密兵器に関する主張を繰り返す。



4 アメリカの各地で、厳しい気象条件が作物を生産している。



5 ベターは、このパターンをソ連の気象戦争を熟慮したと説明した。



6 1980年の人質救助任務は災害で終わります。



7 彼はその襲撃を妨害した秘密兵器を主張した。



8 セントヘレンズ山は5月18日に壊滅的に噴火した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

1980年6月28日

テーマ3 クレムリンで死闘

1 ベターはソビエトの指導者たちの間で隠れた闘争について記述した。



2 彼は対立を対立する派間の長い闘争と捉えた。



3 以前にも、人間の二重の秘密戦争を主張していた。



4 ロシアのレプリカを「オーガニックロボティクス」と呼びました



5 ライバルの「Tic Automatons」が反対派に仕えたと、彼は言いました。



6 米国の画期的な判決は、設計した生命体に関する特許を許可しました。



7 合成物がクレムリン川に浸透したと疑われた。



8 彼は、内部闘争が世界に影響を与えると疑われていることを温めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。